

くろつち会便り

支部大掃除

7月26日の支部大掃除、8時からだというのに、

8時にはもうあらかた済んでいるというぐらい、くろつちの先生方は出てくるのが早い。支部への思い入れが、それほど強いということでしょうか。

中には、集合時間を勘違いしたのか、ずいぶん早く来られたけど、支部はまだ閉まっていたという話も。



作業も終わり野間会長の閉めの挨拶、「……以上で、私の挨拶を30秒で終わります。」(笑)と。

しかし、現況に対する様々な思いを秘めておられるあの野間会長、実際は30秒で終わるはずがありません。

労金の会

労金友の会の定期総会が7月30日(水)に開かれました。

長く幹事をされていた志村和明先生が退任され、代わりにくろつち会から内俊郎先生が幹事に就任されました。

大変でしょうが、宜しくお願いします。



定期総会の様子

この日の議長は、飯山先生

友の会の当面の予定

9月9日(火) (雨天時10日)

グラウンドゴルフ大会

2回目は3月実施

10月1日(水)

県本部グラウンドゴルフ大会

期日未定 親睦旅行

1人500円の助成



「友の会」総会後の交流会の様子

音楽の不思議な力

No. 63 噴火の鉄槌

日高南海雄

今から1935年前の紀元79年8月、イタリアはナポリの東にそびえるヴェスヴィオ火山が大爆発を起こし、流れ出した溶岩が南西側麓のヘルクラネウム（現在のエルコラーノ）と南東側のポンペイの町を埋め尽くしました。

以来、ポンペイは18世紀中ごろに発掘が始まるまで（組織的発掘はさらに1世紀後）、硬い溶岩の下に眠っていたのです。

19世紀の後半になると発掘が本格化し、観光客も次第に増えてきました。この観光客を相手に稼ごうという実業家は、洋の東西を問わずいるものですね。

アメリカの旅行業者が、なんと、麓から火山の頂上まで登山電車を登らせたのです。1880年のことでした。ヴェスヴィオは桜島より140m 高い活火山です。桜島の古里から南岳に電車を通すようなものです。当然ながらすごい勾配の坂道です。登りはまだいいとしても、下りは地獄の底へ落ちていくような感じで、これにはさすがのイタリアっ子も二の足を踏んで、ほとんど利用されなかったそうです。

しかし、多額の投資をして一儲けしようという事業主が、これほどのことで参るものですか。ナポリ出身で、当時ロンドンの王立学校の教授だったデンツァさんに、登山電車のコマーシャルソングの作曲を依頼しました。

「フニクリ フニクラ」

♪ 赤い火を吹く あの山へ 登ろう 登ろう
 そこは地獄の釜の中 のぞこう のぞこう
 登山電車ができたので 誰でも登れる
 流れる煙は 招くよ みんなを みんなを
 ゆこう ゆこう 火の山へ
 ゆこう ゆこう 山の上
 フニクリ フニクラ フニクリ フニクラ
 誰も登る フニクリ フニクラ ♪2番略

歌の力は計り知れません。この歌はナポリの民衆歌謡祭で好評を博して入賞し、登山電車ともども有名になり、歌に誘われ電車の利用者も格段に増えたそうです。

「好事魔多し」 順調に進んでいた登山電車の事業は1943年、ヴェスヴィオ山のまたまたの噴火によって施設は破壊されました。この大噴火は、イタリアの民衆をファシストに巻き込んだムッソリーニと、電車による安易な登山をする人々に対して、ヴェスヴィオの山の神が大鉄槌を下したものと思われれます。

「フニクリフニクラ」は近年、極東の島の国で「鬼のパンツ」という替え歌が作られました。

♪ 鬼のパンツはいいパンツ
 強いぞ 強いぞ
 虎の毛皮でできている
 強いぞ 強いぞ
 五年履いても破れない
 強いぞ 強いぞ
 十年履いても破れない ～以下略



講演会・学習会のお知らせ

8月27日(水) 憲法学習会

18:00～

会場 教育会館

8月28日(木) 共助会講演会

リナシティー 14:00～

講師 斎藤一久(東京学芸大学)

「子供に話せる憲法のはなし」

9月5日(金) 脱原発集会・デモ

イベント広場 18:00～

9月24日(日)

原発と避難問題を考える集い in 鹿児島

13:00～17:00

場所 宝山ホール

9月28日(日)

ストップ! 川内原発再稼働全国集会

場所 天文館公園

13:00～14:30 集会

14:30～16:30 デモ



49回 かごつま弁単語帳

坂田 勝

鹿児島弁単語（薩隅方言）を五十音順にシリーズで連載しています。

○やから：無理を言う。子どもが何かを求めて泣き叫ぶさま。わがまま。「こどんがおもちゃがほしちヤカラをゆ」（子どもがおもちゃが欲しいとだだをこねる）。「よくろてヤカラをゆな」（酔っぱらってうるさいことをいうな）。

○やぜ（ぞ）ろし：うるさい。「ヤゼロシこつゆな」（うるさいことをいうな）。「まこちこんへはヤゼロシもんじゃ」（本当にこの蠅はうるさいもんだ）。

○やちゃ ぐわん：どうにもこうにもならない。「こんしごちゃヤチャグワンジャ。めんぶっがね」（この仕事はお手上げだ。本当に面目ない）。

○やっけな：やっかいな。「ヤツケナそまげ あぶればへがつつ」（厄介なそまげ、あぶれば灰がつく）。「そまげ」はソバ粉に餅やさつまいもなどを混ぜた団子のこと。冷たいソマゲを温めようと、火の上であぶろうとするとべったりと灰がついてしまい、手や口にひっついて厄介なことだ。このことからどうも扱いにくい人やどうにも手に負えない厄介なことに会ったとき、「やっけなソマゲ」という。（ことわざが語る薩摩）。

○やっけになります：お世話になります。ありがとう。「ゴヤツケさあごあした」（ありがとうございました）。ごちそうになった帰りのあいさつ語。

○やっせん：役立たず。だめ。死ぬ。「なゆしてんヤッセン」（何をしてもだめだ）。「ヤッセンじゃったげなな」（亡くなられたそうですね。弔問の挨拶語）。「やっせんぼ」（弱虫。臆病者。意気地無し）。

○やっとかつと：ようやく。共通語の「やっど」に意味を強めるための語呂（ごろ）を合わせるように下に「カット」を添えたことば。「ヤットカットのぼいちた」（やっどのことで登り着いた）。

○やまいもをほる：酔って管を巻く。そういう人間を「ヤマイモホイ」という。「管を巻く」（酒に酔って同じことやくだらないことをくどくどと言いつけること）。

本当の野生のヤマイモは地中深く入っていてなかなか掘りにくいから、ぶつぶつ言いながら掘る。そこで「ヤマイモをほる」という。



平和への願いを込めて

8月15日（金）

終戦記念日のこの日、自衛隊前で座り込みがあ

りました。

毎年9日に行っている、反戦・反核の集会在、今年は台風11号接近のためできなかったの、

15日に行くことになったのです。

くろつち会からも多数参加しました。

8. 15座り込みの続き

右→道路にあふれんばかりの参加者でした。



←左、↑上
あそこにもここにもくろつちの仲間が・・・

川内原発再稼働反対講座

8月23日(土)

講師に伴英幸さん(原子力資料情報室)を迎えて講演がありました。

おかしい!と協調されたこと

- 巨大噴火に耐えられない
- 巨大噴火の予知は出来ないの、それには対応できない
- 大型航空機の意図的衝突で原発壊滅
- 水素または水蒸気爆発で、格納容器破壊の危険
- 大量被曝がさけられない避難計画

熱心に聞き入る村山先生を見ると、私たちの励みにもなります。 →

原子力資料情報室
<http://www.cnic.jp>



くろつち文化祭

今年もくろつち文化祭を実施しようということ
で計画を進めています。
出展申込は26日まで

でしたが、申込をうっかりしていたという方、まだ間に合います。

元気の出る話、募集

「安倍がテレビに出たらチャンネルを変える」という話を、いろいろな方から聞きます。こういう世だから、却って元気の出る話が欲しいです。

会員の皆様は、元気の出る話をたくさん持っていらっしゃるのでは? 「お孫さんの自慢話」「ご自分の得意なこと」「趣味の話」「生活が滲み出る話」などなど。

僕はよく、娘を呼ぶのに間違っってペットの名前で呼んだり、逆にペットを娘の名で呼んだりするのですが、そういう「黒じよか」的な話でもいいです。400字程度でしたら、気軽に書けるのではないのでしょうか。(紙面の都合で長すぎても困りますが・・・)

編集後記 くろつち便り前号(7月)と前々号(6月)の「かごつま単語帳」が同じ内容だったというのを今日(8月25日)聞かされ、びっくりしました。すみませんでした。ある研究会の全国大会(熊本大会)の申込を一手に引き受けていたこともあって、忙しくしていたせいでしょうか。前号を読まれた方は、「あれっ?」と苦笑されたことでしょうか。今頃気づくなんて、何とも恥ずかしい限りです。筆者の坂田先生にも申し訳なかつたです。